

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年10月1日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 「山形国際ドキュメンタリー映画祭2013」を盛り上げます！
2. 第3回安達峰一郎記念世界平和弁論大会を開催します
3. 「山大闘論！ ーより良いキャンパスライフへの挑戦ー」の開催
4. 第47回八峰祭を開催

お 知 ら せ

1. ホームカミングデーの開催

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成25年10月15日(火)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年10月1日
山形大学

「山形国際ドキュメンタリー映画祭2013」を盛り上げます！

山形大学は、平成21年に山形国際ドキュメンタリー映画祭と、教育やスタッフ派遣などで互いに協力し地域文化の発展に貢献することを目的として、相互協力協定を締結し、活動を続けてきました。

今年、10月10日から17日まで開催される「山形国際ドキュメンタリー映画祭2013」では、山形大学として3つの企画を用意し、映画祭の成功に寄与します。

◆企画内容

1. 研究書の刊行(2013年10月1日刊行)

『映像の中の冷戦後世界 ―ロシア・ドイツ・東欧研究とフィルムアーカイブ』
高橋和・中村唯史・山崎彰編 山形大学出版会(2,000円+税)

山形映画祭に応募された作品は、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー(ビッグウイング内)に収蔵され、現在1万本ほどにもなり、日本国内では類例を見ないフィルムアーカイブに成長しています。山形映画祭が始まったのがヨーロッパの旧社会主義国の政治社会変革が起こった1989年であったため、それ以降の激変期におけるロシア、ドイツ、東欧各国の社会や文化の動向を対象にした映画が多数、ライブラリーには収蔵されています。そこで山形大学の教員と学生、ならびに東京在住の研究者が、膨大なフィルムの中から、これらの国に関する作品を選び、調査・分析し結果をまとめ、映画祭に合わせて刊行しました。

ドキュメンタリー映画は、研究素材としては文献にはない価値があり、今後、その重要性が増すと思われます。しかし日本の研究者には、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの学術的価値が十分に知られていないため、この研究書によって、ライブラリーの価値を現代史や映像文化研究者、学生に知ってもらうとともに、他の学問領域の専門家や学生にも目を向けてもらうことが、共同編集者、執筆者の願いです。

2. 講演と映画上映(山形大学主催 山形国際ドキュメンタリー映画祭共催)

「東欧ドキュメンタリー映画の現在—冷戦終了後の世界」

日 時:10月12(土)、13(日)、14日(月)

会 場:山形まなび館 (入場無料)

研究書の刊行に合わせた企画。山形映画祭では、ほとんど毎回のように東欧の映画がコンペティション作品として上映され、国際映画祭としての同映画祭に貢献してきました。本企画では、山形映画祭も含め国際ドキュメンタリー映画祭で高い評価を得たポーランド、ハンガリー、チェコ、スロヴァキアの映画作品を上映するとともに、現在これらの国を研究する日本の代表的研究者によって、東欧映画の魅力や価値について講演で語っていただきます。

3. イグナシオ・アグエロ監督特別講義と映画上映

日本映画大学(映画学部)×山形大学(人文学部)コラボレーション企画

上映作品:『100人の子供たちが列車を待っている』1989年58分

日 時:10月15日(火)17時~19時30分(DVD上映)

場 所:フォーラム4 (入場無料)

チリ各地のスラム街で、今もなお子供のための映画ワークショップをつづける女性アリシア・ベガ。教会を借りた仮の映画館で生まれて始めて映画を目にし、映画作りを擬似体験する子供たち。映画とは何か、映画を作るとはどんなことか、子供たちの五感を通して描きだされる映画誕生の驚異と歓喜。その映画への愛と繊細で自由な映画の感性によって、第一回山形国際ドキュメンタリー映画祭の観客に深い感銘を与えたイグナシオ・アグエロ監督*が、最新作『サンチャゴの扉』を携えて再訪する山形で、映画を学ぶ学生たちと対話します。

*イグナシオ・アグエロ(1952年生)。二本の短篇を経て監督した本作が第一回山形国際ドキュメンタリー映画祭で世界初公開。山形における「映画の考古学的な恍惚感にみちた」この作品の「発見」(蓮實重彦)が、映画祭自体のその後の評価にも結びついた。1993年の『氷の夢』が、やはり山形映画祭で公開。他に、「建設中(あるいは、私の生まれた場所はない)」(2000年)などがある。

(お問合せ先)

人文学部 教授 山崎 彰

電話 023-628-4242

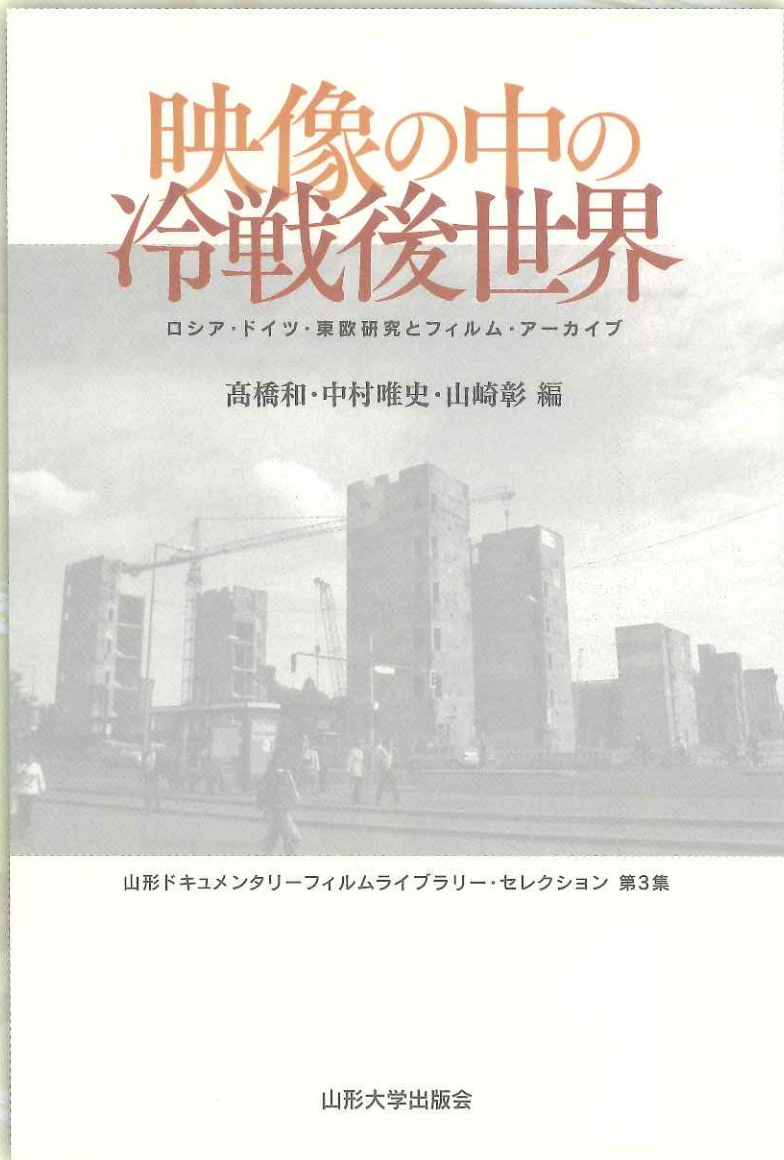
山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー・セレクション 第3集

高橋 和・中村唯史・山崎 彰 編

映像の中の冷戦後世界

ロシア・ドイツ・東欧研究とフィルム・アーカイブ

ドキュメンタリーフィルムから読み取る、
世界史的な転形期の記録である。



この時代を生きてきた人々の認識と心境の記録である。

本書は、山形大学人文学部を中心とする研究者と学生が、膨大な数にのぼるフィルムの中から、とくにロシア、ドイツ、そして東欧諸国に関係する作品を調査・分析し結果をまとめたものである。

体裁◎A5 270頁
定価◎本体2,000円+税

発行
山形大学出版会 〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12
TEL023-677-1182 FAX023-677-1129

取扱書店	発売所名 山形大学出版会 山形県山形市小白川町1丁目4-12 TEL023(677)1182			
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">映像の中の冷戦後世界 ロシア・ドイツ・東欧研究とフィルム・アーカイブ ISBN978-4-903966-18-2 C3047¥2000E</td> <td>定価 本体2,000円+税</td> </tr> <tr> <td>注文数</td> </tr> </table>	映像の中の冷戦後世界 ロシア・ドイツ・東欧研究とフィルム・アーカイブ ISBN978-4-903966-18-2 C3047¥2000E	定価 本体2,000円+税	注文数
映像の中の冷戦後世界 ロシア・ドイツ・東欧研究とフィルム・アーカイブ ISBN978-4-903966-18-2 C3047¥2000E	定価 本体2,000円+税			
	注文数			

月 日

冊

東欧ドキュメンタリー映画の現在 ～冷戦終了後の世界～

山形国際ドキュメンタリー映画祭が誕生した1989年は、「東欧革命」が勃発した年でもあった。
このためこの20余年の間に、これらの諸国、地域の社会や文化に関する映画が多数、山形映画祭に応募され、上映されてきた。
その中のいくつかの優れた作品を参照しながら、この間の東欧映画の達成を振り返る。

会場:山形まなび館 地階交流ルーム (山形市本町1丁目)

主催:山形大学 共催:山形国際ドキュメンタリー映画祭

10月12日(土) 冷戦終了後の世界と「小さな物語」 ～ポーランド・ドキュメンタリー映画～

13:00～14:00 映画上映「シベリアのレッスン」(英語字幕) 監督:ヴォイツェフ・スタロン ポーランド 1998年

マウゴーシャは、恋人の映画制作者とともに、シベリアに旅立った。社会主義時代に強制的に移住させられたポーランド人の子孫に対して、ポーランド語を教えるためである。母国とは全く違った環境で生活することは、彼女にとってつらいものであったが、シベリアでの1年間の体験は、彼女の人生にとって最大の幸福と感じられるようになる。国際ドキュメンタリー映画祭1999(パリ)大賞。

14:00～15:30 講演と討論 講師:小椋 彩(東京大学)

15:50～16:50 映画上映「さらばUSSR」(日本語字幕) 監督:アレクサンドル・ロドニャンスキー ウクライナ 1994年

1929年の映画「帝国の破片」やニューズリールを録み、ソ連の誕生から崩壊までを描きながら、それぞれの時代にこの国の歴史に関わった人々へのインタビューを試み、ベレストロイカで湧き上がった多くの希望が失望に変わったことをあぶり出す。山形国際ドキュメンタリー映画祭1995国際批評家連盟賞。

10月13日(日) ハンガリー・ドキュメンタリー映画と 現代史の諸問題

12:20～14:00 映画上映「頑固な夢」(日本語字幕) 監督:ソポリッチ・ペーラ ハンガリー 1989年

ひなびた国境近くのハンガリーの小さな村ラーバジャルマトでは、社会主義革命による中断をはさみながら、70年にもわたって村人による古風な演劇活動が続いている。年に一度の上演が間近に迫り、練習には熱が入る。村の祭りは、芝居の上演で頂点に達する。山形国際ドキュメンタリー映画祭1991ロバート&フランシス・フラハティ賞。

14:00～15:30 講演と討論 講師:飯尾 唯紀(城西大学)

15:50～18:40 映画上映「私はフォン・ホフレル(ヴェルテル変奏曲)」(日本語字幕)

監督:フォルガーチ・ペーテル ハンガリー 2008年

ハンガリーの旧家フォン・ホフレル家の250年にわたる物語を、老人の一人語りからはじまり、写真やホームムービー、手紙とともに描いていく。それら個人的な記憶から浮かびあがるのは、ある一族の歴史であり、歴史に翻弄されるハンガリーという国の軌跡である。

10月14日(月) ドキュメンタリー映画のなかの政治変動 ～チェコスロヴァキアの場合～

13:00～14:00 映画上映「記憶と夢」(日本語字幕) 監督:リン＝マリー・ミルバーン オーストラリア 1993年

1920年代初めにプラハに生まれ、非凡な人生を歩んだヨハンナの人生の記録である。自由闊達な少女時代、ジャーナリストとしての活躍、ナチス占領による収容所への拘留、偽造証明書による撮影所への就職、社会主義革命後の亡命などを描く。記憶のドキュメンタリーともいべき試みである。

14:00～15:30 講演と討論 講師:高橋 和(山形大学)

15:50～17:26 映画上映「ペーパーヘッズ」(日本語字幕) 監督:ドゥシャン・ハナック スロヴァキア 1996年

第二次世界大戦から社会主義時代の激動の時代をくぐり抜けたチェコスロバキアの歴史を、斬新な視点でとらえる。公式記録、証言、メーデー事件の演出などを効果的に配し、社会主義時代の市民と権力の関係を多角的に浮き彫りにしている。人間存在を深く広く追究し、社会と個人の歴史を描く。山形国際ドキュメンタリー映画祭1999優秀賞。

平成25年10月 1日
山形大学

第3回安達峰一郎記念世界平和弁論大会を開催します

山形大学都市・地域学研究所*と山辺町は、2011年に山形が生んだ世界的偉人である安達峰一郎の平和の精神を受け継ぐ弁論大会として、「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」を開催しました。今回は3回目の開催となります。

◆趣旨

「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」は、安達峰一郎（1869～1934年）の平和の精神を受け継ぐ弁論大会として、山形大学都市・地域学研究所と山辺町が企画した記念行事です。この行事を通して、非戦の制度化・世界平和の組織化に尽力した安達峰一郎の普遍的な意義に深く学び、その平和の精神を受け継ぐべく中・高校生に考える場を提供し、平和の精神の具体化の重要性を世界に向けて発信します。

◆概要

日本全国の中学生、高校生を対象に、「平和について」をテーマにした作文を提出していただき、弁論大会参加者各10人を選出します。弁論大会では、予選に提出した作文に基づき、中学生5分、高校生7分のスピーチを行っていただき、①最優秀賞、②優秀賞、③特選の各1人を決定します。

日 時：11月16日（土）13:00から17:00まで

場 所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館 222教室

※申し込み、入場料などは不要。一般の方の来聴を歓迎いたします。

*山形大学都市・地域学研究所：自主的共同研究の推進を支援し本学の研究活動の活性化を図るために、社会的要請の高い分野などにおいて、学部を横断した自主的共同研究を行う組織、「山形大学バーチャル研究所」の一つとして認定されている。「都市・地域学」に関する総合的かつ学際的研究を行っている。

（お問合せ先）

山形大学都市・地域学研究所

所長 松尾剛次（人文学部教授）

電話 023-628-4917

Mai kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

第3回安達峰一郎記念世界平和弁論大会

開催日時:2013年11月16日(土)13:00~17:00

会場:山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館222教室

会場から遠く離れた場所でも、その感動や気持の新鮮な若い声に耳を傾けてみよう!

参加無料
申込不要



当日優秀者を囲んだ夕食会「優秀者を囲む夕べ」を開催致します。優秀者等との交流の機会としたいと存じますので、こちらにも是非ご参加ください。

会場:山形国際ホテル
時間:18:00~20:00
参加費:5000円
申込〆切:11月11日(月)

後援:朝日新聞山形総局、NHK山形放送局、河北新報社、(株)テレビユー山形、長崎市、ふすま同窓会、毎日新聞山形支局、山形新聞・山形放送、読売新聞山形支局、

協賛:宝光院、トヨタカローラ山形(株)、(株)シェルター、(株)カキザキ(山形国際ホテル)、(株)三陽製作所、(株)シペール山形建設(株)、坂部印刷(株)、(株)山形グランドホテル

審査員:山形県弁護士会会長 伊藤三之、山形県教育次長 菅間裕晃、山形新聞社代表取締役社長 寒河江浩二、NHK山形放送局長 石井伸壽、ふすま同窓会長 長岡龍平、(株)シペール特別顧問 熊谷真一、マリアこまくさ保育園長 阿部康子、河北新報社山形総局長 富樫茂、山形建設(株)社長 後藤完司、山辺町長 遠藤直幸、山形大学長 結城章夫

問合せ・申込先:山形市小白川町1-4-12

山形大学人文学部松尾研究室

TEL・FAX 023-628-4917

山形大学人文学部総務課

TEL 023-628-4203

主催:山形大学都市地域学研究所/山形県山辺町

平成25年10月 1日
山 形 大 学

「山大闘論！ーより良いキャンパスライフへの挑戦ー」の開催

山形大学の開学記念日である10月15日(火)に、「山大闘論！」と題し、生活・学修・就職について、本学学生が抱える悩みを学生・教職員が真剣に語り合う学生フォーラムを開催します。

本学は、「学生が主役の大学創り」を掲げ、日々、これに向けて取り組んでいます。本学学生は、これを実感できているのかどうか？真の「学生が主役」とは何なのか？日々の学生生活の中で抱える悩み、大学への思いなどを、この学生フォーラムで、学生・教職員が真剣に語り合い、その中から答えを模索していきます。

開催日：平成25年10月15日(火) 山形大学開学記念日
(14:00～17:30)

会 場：第一部 山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館2階222教室
第二部 山形大学小白川キャンパス 大学会館「ポム」

参加者：山形大学の学生及び教職員等
(学外の方は参加できません。)

※詳細なプログラム内容等については、別添資料をご参照ください。

(お問合せ先)
エンrollment・マネジメント部政策課
(EM担当)
(TEL) 023-628-4063

山大闘論!

—より良いキャンパスライフへの挑戦—

10月15日(火) 開学記念日

14:00 ~ 17:30 (13:00 受付開始)

会場

第一部：山形大学小白川キャンパス
基盤教育棟2号館222教室
第二部：山形大学小白川キャンパス
大学会館「ポム」

参加者

山形大学の学生及び教職員等

「学生が主役の 大学創り」…

山形大学の学生はそれを 実感できているのだろうか？

山大生が抱える生活・学修・就職について、悩みを真剣に語り合う場を設け、今の山形大学を改めて見直し、山形大学で学ぶ意味を再認識し、「真」の学生とは何かを議論します。是非、この機会に参加してみませんか！

山大生よ！
語り場に集合せよ！



プログラム

13:00 受付開始

14:00 開会・第一部 パネルディスカッション

16:00 議論のまとめ

【議論テーマ】

I 私生活について

II 学修について(大学への要望を含む)

III 卒業後の状況(就職)について

【ファシリテーター】

福島 真司(山形大学エンrollment・マネジメント部 教授)

【内容】

上記議論テーマについて、エンrollment・マネジメント部 福島教授をファシリテーターとし、学内外からパネリストを招聘し、山形大学の学生生活をより良くするために、学生のみなさんと本音で議論を行います。

<休憩15分>

16:15 第二部 サンドウィッチミーティング(参加費無料)

17:30 閉会

お問い合わせ先

山形大学エンrollment・マネジメント部政策課(西谷・菅井)

E-mail enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

tel …023-628-4063

fax…023-628-4491

平成25年10月 1日
山 形 大 学

第47回八峰祭を開催！

山形大学の大学祭、第47回八峰祭（やつみねさい）を10月19日(土)・20日(日)に開催します。今年のテーマは『L!NK』。山大生はもちろん、地域の方々、そして山形との繋がりを意識して、八峰祭を通して山形大学、山形全体を盛り上げていきます。

八峰祭は、山形大学小白川キャンパスで毎年10月下旬に開催される大学祭の名称です。小白川キャンパスは周りを数々の山に囲まれており、自然豊かな環境で学生たちが主体的に活動しています。その様子をイメージし「八峰祭」という名前がつけられました。サークル・研究発表、学生による出店・受験生相談室など数多くのイベントが催され、毎年活気あふれる大学祭となっています。

今年度は、1年生から4年生まで総勢約60名の実行委員が企画・運営に励んでいます。さまざまな企画をご用意し、八峰祭当日は、来場者の皆様に最高の笑顔を届けます。

◆内 容

日 時:10月19日(土)・20日(日)

場 所:山形大学小白川キャンパス

催 し:

山形大学のサークルによる飲食ブース、ステージ発表
両日開催の無料アーティストライブ
お化け屋敷、ジブリクイズ、TVゲーム対決、米沢牛の串焼き販売など、
今年度の目玉は、ミス山大・ミスター山大コンテストです。(ヘアメイク、衣装、全てに山形を盛り込んだ出場者のドレスアップにご期待ください。)

(お問合せ先)

第47回八峰祭実行委員会

代表 島崎 梨紗

Mail info@yatsuminefestival.com

ヒト マチ つながろう

第47回山形大学大学祭

八峰祭

他キャンパスと
LINK

米沢牛
串焼き
小白川 × 鶴岡 × 米沢

参加者と
LINK
写真展

ミス・ミスターコン

X



山形女子フェス

山形とLINK

寒河江市ゆるきゃら
チェリン
がやって来る!

LINK

10.19(土) 10:00~21:00 20(日) 10:00~16:00

—ARTIST LIVE—



Brand
New Vibe 19日



7!! 20日

主催 第47回八峰祭実行委員会 問い合わせ: info@yatsuminefestival.com HP: http://www.yatsuminefestival.com/

後援: テレビュー山形 さくらんぼテレビ NHK 山形放送局 ケーブルTV山形



山形大学の大学祭2013

- ◆ あづまさい 吾妻祭（米沢キャンパス） 10月12日（日）～14日（月）

吾妻祭は、山形大学工学部と米沢女子短期大学が合同で行っており、今年で19年目を迎えます。1日目は米沢女子短期大学、2，3日目は山形大学工学部で開催されます。

○主な企画：アーティストライブ、屋台、展示、研究室公開、フリーマーケット、お化け屋敷、ゲーム大会など

- ◆ やつみねさい 八峰祭（小白川キャンパス） 10月19日（土）～20日（日）

小白川キャンパスで毎年行われており、今年で47回目の開催。

- ◆ かくじゆさい 鶴寿祭（鶴岡キャンパス） 11月3日（日）～4日（月）

一昨年から「鶴寿祭」という名前に変えて、実施している農学部のお祭り。

○主な企画：野菜即売会、研究室紹介、サークル発表、模擬店、ミニSL、もちつき等

2013
吾妻祭

い
き
祭



ARTIST LIVE in YONEZAWA

ティナー・カリーナ
open 15:30 / start 16:00
10.12 (Sat)

お笑い&トーク
in YONEZAWA

『ザブングル』



10.14 (Mon)
in 山大
start
13:30~



10.13 (Sun)

~SPECIAL LIVE in 山大~
レディオサイエンス
高橋秀幸

10.12 (Sat) 米沢女子短期大学

オープニングイベント アーティストライブ 各種企画

10.13 (Sun) 山形大学工学部

各種企画 (食べ歩き・お化け屋敷・中夜祭)

屋台・展示・研究室公開・フリーマーケット・ゲーム大会
学科別発表会

10.14 (Mon) 山形大学工学部

各種企画 (特設ステージ・食べ歩き・お化け屋敷・ゲーム大会)
屋台・展示・研究室公開・学科別発表会



駐車場には限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用下さい。
また、米沢駅から山形大学工学部への直通バスがございます。ぜひご利用ください。
詳しくは2013吾妻祭HPをご覧ください。http://azumafesta.com/
主催*山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会



平成25年10月1日
山形大学

1. ホームカミングデーの開催

山形大学人文学部、地域教育文化学部、理学部及び工学部において、ホームカミングデーを開催します。イベント内容、開催日時は学部で異なりますので、詳細は別添の資料をご覧ください。

◆工学部 : 10月12日(土) 開催 (場所: 工学部中示範A教室)

記念講演「山形大学工学部のいま、そしてこれから」 飯塚 博工学部長

◆地域教育文化学部 : 10月14日(月) 開催 (場所: 山形国際ホテル3階ロビー)

パネル展示 (学部概要、山形新聞コラム「地域×学び」、研究紹介ポスター、
学生・教育、男女共同参画推進パネル展)

資料展示

◆人文学部 : 10月19日(土) 開催 (場所: 基盤教育1号館教室)

パネルディスカッション

- ・スカイプ中継「開所一年の山形大学人文学部附属ナスカ研究所」
- ・パネルディスカッション「みんなで語ろう：人文学部の昔と今」

各ゼミ懇談会

パネル展示 (ナスカ研究関係、模擬裁判41年のあゆみ、山形高校写真展)

◆理学部 : 10月19日(土)、20日(日) 開催

(場所: 理学部11番講義室、研究室)

理学部講演会 (19日のみ) 「不思議なカビの世界」

講師: 大瀧 保 先生 (東北大学名誉教授: 昭36. 山形大学卒)

理学部研究室公開 (19日、20日)

山形大学工学部

第7回

Homecoming day

ホームカミングデー

山形大学工学部では、年に1度卒業生を招き、旧交を暖めていただく「ホームカミングデー」を開催しています。

平成25年10月12日(土)
12:40~

場所: 山形大学工学部中示範A教室

12:40~12:50 オープニングセレモニー

12:50~13:50 記念講演

『山形大学工学部のいま、そしてこれから』
山形大学工学部長 飯塚 博

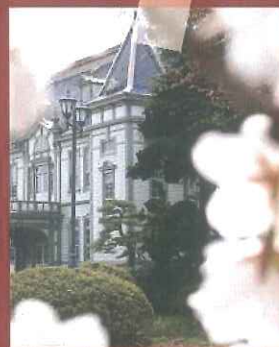
保護者の方も
ぜひご参加ください

◆同◆時◆開◆催◆

◇OB・OGと語る会(企業研究会)◇
9:30~12:00 場所:4号館講義室

◇米沢工業会懇親会◇
15:00~ 場所:ホテルサンルート米沢

山形大学工学部企画総務担当 TEL:0238-26-3005



山形大学地域教育文化学部ホームカミング

資料パネル展示会

日時：平成25年10月14日（月）10:00～14:00

場所：山形国際ホテル3階ロビー

内容：

パネル展示

- ◆学部概要
- ◆山形新聞コラム「地域×学び」
- ◆研究紹介ポスター
- ◆学生・教育
- ◆男女共同参画推進パネル展

資料展示



同窓会記念式典会場のロビーでの
同時開催となります。

お問い合わせ先

山形大学地域教育文化学部事務室

電話：023-628-4304

E-mail：

kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームカミングデー 2013

日時：平成25年10月19日(土) 11:00-17:00

場所：山形大学基盤教育1号館教室

対象：人文学部卒業生、在学生、高校生、一般市民

おかえりなさい
人文学部へ。

《内容》(予定)

●全体会1 人文学部の昔と今

[第1部] パネルディスカッション 13:00-15:00(基盤教育122教室)

- ①学部長あいさつ
- ②来賓あいさつ
- ③スカイプ中継「開所一年の山形大学人文学部附属ナスカ研究所」
- ④パネルディスカッション「みんなで語ろう:人文学部の昔と今」
英語、西洋法制史、会計学の新旧ゼミ生のほか、ふすま同窓会、人文学部卒の山形大職員が人文学部の魅力を語ります！

[第2部] 各ゼミ懇談会 15:00-16:30

- ①各教室に分かれて新旧ゼミ生が懇談
英語学系 基盤教室121教室
澤田裕治ゼミ(西洋法制史) 基盤教育123教室
洪慈乙ゼミ(会計学) 基盤教育133教室
北川忠明ゼミ(政治学) 基盤教育131教室
ふすま同窓会+「若いふすまの会」 基盤教育135教室

●全体会2 16:40~(基盤教育122教室)

- ①人文学部の活動の紹介
- ②各ゼミ懇談会報告
- ③山形大学グッズが当たるお楽しみ抽選会

●パネル展示 11:00-16:30(基盤教育111教室)

- ①ナスカ研究関係
- ②模擬裁判41年のあゆみ
- ③山形高校写真展

＜お申込み、お問合せ先＞

参加希望の方は、お名前、卒業年、所属ゼミをお知らせください。

担当:人文学部事務室 樋口

電話:023-628-4203 FAX:023-628-4212

メール:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

<http://www.facebook.com/ShanXingDaXueRenWenXueBu?ref=hl>

サイエンス再発見！

理学部ホームカミングデー 2013

■理学部講演会 10月19日(土)10:00 ~ 11:00

題目「不思議なカビの世界」

講師：大瀧 保 先生（東北大学名誉教授：昭36.山形大学卒）

場所：山形大学理学部 11番講義室

講演概要

菌類の中には、自ら回転運動をしたり、光や重力などの外的刺激に対して鋭敏に反応するものがあります。また、華麗な接合反応を示すものもあります。これらの現象をヒゲカビやミズタマカビなどを通して紹介すると共に、カビ一般の自然の理にかなった行動を紹介したいと思います。また、これらの研究を通しての科学的背景についても触れる予定です。

■理学部研究室公開

10月19日(土) 下記公開時間帯中は、いつでも見学可能です。

10:00~12:00 深澤研究室 「代数学の研究」

10:00~16:00 佐々木・大西・北浦研究室 「不思議な電子の振舞いを探求する」

10:00~17:00 奥野研究室 「探検ミクロワールド！」

10:00~17:00 半澤研究室 「遺伝子で探る生命現象」

10:00~17:00 岩滝研究室 「単細胞性藻類のかたちと系統進化」

10:00~17:00 宮沢研究室 「植物生理学研究室」

13:30~15:30 西岡研究室 「超越数論の研究」

18:00~20:00 (19:00受付終了) 柴田研究室 「やまがた天文台、4次元宇宙シアター」

10月20日(日)

10:00~17:00 栗山研究室 「環境にやさしいものづくり」

15:00~17:00 ジョルダン研究室 「植物プランクトンと微化石を見ましょう!!」

自家用車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ先：山形大学理学部事務室

E-mail koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

電話 023-628-4505

理学部ホームページ

<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/index.html>